

令和元年度事業評価

課別評価シート

【教育推進部 児童青少年課】

目 次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【子育て支援】分野の事業の評価	P. 3
3 【青少年の健全育成】分野の事業の評価	P. 5
4 【防犯・安全対策】分野の事業の評価	P. 6

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
子05-10	育成室の整備拡充
子05-11	育成室への障害児受入れ
子06-02	放課後全児童向け事業の推進
子06-03	民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ
青01-01	青少年健全育成会活動支援
青02-01	青少年の社会参加推進事業
青03-02	子ども110番ステッカー事業
青05-01	青少年プラザ事業
青05-02	STEP～ひきこもり等自立支援事業～

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

≪ 検討の視点 ≫

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカム等の達成に向けた、各事業の貢献度 (事業実績の推移)
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方 (例)
 - ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
 - ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
 - ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体 (民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携 (整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源 (予算・人員) の最適化・再配分

【方向性の類型】

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの |
| 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの | 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの |
| 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの | 終了済 → 昨年度までに終了した事業 |

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名		中間アウトカム				
子05-10	育成室の整備拡充		子育て支援(D)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	待機児童が見込まれる地域への育成室整備	施設	37	38			39
	事業費(千円)		484,088	621,224			
	行政コスト(千円)		-	-		進捗の課題	有
	所要人員		56.146	53.654			
進捗の課題と改善策	区内の育成室の利用需要に対して、局所的に需要超過となっている地域があるため、この地域を中心に育成室の整備拡充を図っていく必要がありますが、設置場所の確保が困難となっています。						

事業番号	事業名		中間アウトカム			
子05-11	育成室への障害児受入れ		子育て支援(D)			
			H29	H30	H31	
主な取組	障害児の受入れ枠を撤廃しました。また、保育補助の非常勤職員の配置や職員研修を行うとともに、教育センターの臨床心理士等による育成室障害児巡回指導を受け、サポートプランを作成・実施しました。			障害児に対して保育補助職員の配置、また当該職員への研修を行うとともに、教育センターの心理士による育成室巡回指導を受け、児童一人一人のサポートプランを作成し、これに基づいた保育を行いました。		
	事業費(千円)		192,969	193,472		
	行政コスト(千円)		69,875			
	所要人員		6.559	6.934		
進捗の課題	無	進捗の課題と改善策				

事業番号	事業名		中間アウトカム				
子06-02	放課後全児童向け事業の推進		子育て支援(E)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	放課後全児童向け事業実施校の拡充	校	13	6		19	20
	事業費(千円)		137,817	202,006			
	行政コスト(千円)		146,722			進捗の課題	無
	所要人員		1.185	0.352			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム			
子06-03	民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ		子育て支援(D)			
			H29	H30	H31	
主な取組	平成29年4月1日開設のベネッセ学童クラブ音羽に対し、施設の運営に関する経費の一部に対する補助を実施しました。また、新たに区内への誘致を1ヶ所(ベネッセ学童クラブ春日、平成30年4月1日開設)行い、施設整備にかかる経費の一部に対する補助を実施しました。			ベネッセ学童クラブ音羽(2支援分)及びベネッセ学童クラブ春日に対し、施設の運営に係る経費の一部に対する補助を実施しました。また、新たに区内への誘致を1ヶ所(ベネッセ学童クラブ千石、平成31年4月1日開設)行い、施設整備に係る経費の一部に対する補助を実施しました。		
	事業費(千円)		26,926	57,606		
	行政コスト(千円)		38,990			
	所要人員		2.232	1.641		
進捗の課題	無	進捗の課題と改善策				

事業番号		事業名		中間アウトカム			
青01-01	青少年健全育成会活動支援			青少年の健全育成(A)	青少年の健全育成(B)		
主な取組			H29	H30	H31	累計	3年計画
	青少年健全育成会が実施する事業への青少年の参画者数	人	366	456		822	1,438
	事業費(千円)		7,793	8,259			
	行政コスト(千円)		15,561			進捗の課題	無
	所要人員		1.287	1.658			
進捗の課題と改善策							

事業番号		事業名		中間アウトカム			
青02-01	青少年の社会参加推進事業			青少年の健全育成(A)			
主な取組			H29	H30	H31	累計	3年計画
	NPO等が実施する事業への青少年の参画者数	人	46	25		71	205
	事業費(千円)		891	1,201			
	行政コスト(千円)		3,922			進捗の課題	有
	所要人員		0.502	0.648			
進捗の課題と改善策		NPO等の実施する事業は、一定数確保できましたが、青少年の参画者数が減少しました。今後は、PR方法を検討するなど、参画者数を確保できる工夫をしていきます。					

事業番号		事業名		中間アウトカム			
青03-02	子ども110番ステッカー事業			青少年の健全育成(B)	防犯・安全対策(A)		
主な取組			H29	H30	H31	累計	3年計画
	事業協力件数	件	1,725	1,713		3,438	5,334
	事業費(千円)		320	411			
	行政コスト(千円)		2,593			進捗の課題	無
	所要人員		0.377	0.487			
進捗の課題と改善策							

事業番号		事業名		中間アウトカム			
青05-01	青少年プラザ事業			青少年の健全育成(A)			
主な取組			H29	H30	H31	累計	3年計画
	利用者数(延べ)	人	26,826	27,934		54,760	77,464
	利用者満足度	%	86	92		178	264
	事業費(千円)		56,404	61,414			
	行政コスト(千円)		64,173			進捗の課題	無
進捗の課題と改善策							

事業番号		事業名		中間アウトカム			
青05-02	STEP～ひきこもり等自立支援事業～			青少年の健全育成(A)			
主な取組			H29	H30	H31	累計	3年計画
	講演会・個別相談会、茶話会の開催	回	9	9		18	27
	事業費(千円)		6,351	6,723			
	行政コスト(千円)		11,656			進捗の課題	無
	所要人員		0.881	1.135			
進捗の課題と改善策							

2 【子育て支援】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【教育推進部 児童青少年課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

中間アウトカム(D)

子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子05-10	育成室の整備拡充	児童青少年課	待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	育成室の新設に当たっては、都型学童クラブ(民間学童クラブ)が新設された地域において、近隣地域も含め育成室の利用希望者の一部が都型学童クラブ(民間学童クラブ)に流れる傾向が見られることから、都型学童クラブ(民間学童クラブ)の新設状況等を的確に捉え、なお必要性の高い地域での育成室の新設を検討する必要があります。また、子育て家庭の多様なニーズに合ったサービスを選択できるように、放課後全児童向け事業についても今後、事業を推進・充実させていく必要があります。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	音羽地域に育成室を整備し、千石地区には都型学童クラブを誘致しました。また、放課後全児童向け事業については区立小学校において新たに6校で開設しました。			
	課題及び今後の方向性の内容	育成室の利用需要を的確に捉え、必要性の高い地域に育成室を整備します。併せて、都型学童クラブの誘致や放課後全児童向け事業の充実など複層的な取り組みにより、多様な放課後の居場所づくりを確保します。			
子05-11	育成室への障害児受入れ	児童青少年課	特別な配慮を要する児童が、個々に応じた保育を受けている	現状維持	現状維持
子06-03	民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ	児童青少年課	民間のノウハウを生かした質の高い保育を受けている	現状維持	現状維持
子02-01	親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-01	子育てひろば事業	子育て支援課(幼児保育課、児童青少年課)	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-03	ベビーシッターの派遣による子育て支援	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-04	一時保育事業	子育て支援課(幼児保育課)	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-05	ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-07	地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子05-01	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-02	保育園障害児保育	幼児保育課	特別な配慮を要する児童が、必要な保育を受けている		
子05-03	多様な保育サービス事業の実施	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-04	文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践と検証	幼児保育課(教育指導課)	区立保育園と区立幼稚園で、子どもたちが等しく質の高い幼児教育・保育を受けている		
子05-05	区立お茶の水女子大学こども園の運営	幼児保育課	子どもたちが、大学の研究成果を生かした、質の高い保育サービス・幼児教育を受けている		

子05-06	青柳保育園改築	幼児保育課	子どもたちが、安全・安心な環境で保育されている	
子05-07	区立幼稚園の認定こども園化	学務課(教育指導課)	子どもたちが、ニーズにあった幼児教育・保育を受けている	
子05-08	区立幼稚園の預かり保育	学務課	園児が必要な保育を受けている	
子05-09	幼稚園特別保育	教育指導課	幼稚園教育の特性を活かしながら、特別な配慮を要する幼児の健やかな成長が促されている	
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター(幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている	
子06-01	病児・病後児保育事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	

中間アウトカム(E)

地域全体で子育てしやすい環境をつくっている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子06-02	放課後全児童向け事業の推進	児童青少年課	地域住民の関わりの中で、児童の安全・安心な放課後の居場所がつけられている	現状維持	現状維持
子03-01	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	区民同士の相互援助で、子育ての負担が軽減している		
子03-02	子育てサポーター認定制度	子育て支援課	地域の子育て世帯をサポートする担い手が増え、育成されている		
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	地域団体による子育ての相談や交流を深める場がつけられている		
高福02-01	ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている		
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている		
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている		
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者等が安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		

3 【青少年の健全育成】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【教育推進部 児童青少年課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画	
中項目	1-3 青少年の健全育成
将来像	地域で人とのかかわりを学びながら、光る笑顔の青少年が育つまち

中間アウトカム (A)		青少年が主体的に地域とかかわり、社会性を身につけている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
青01-01	青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	青少年が家族や地域との結びつきを深めている	現状維持	現状維持
青02-01	青少年の社会参加推進事業	児童青少年課	青少年が主体的に社会参加している	現状維持	改善・見直し
課題及び今後の方向性の内容		多くの青少年が事業へ企画段階から参画することへの魅力を感じるように、PR等を工夫していきます。			
青05-01	青少年プラザ事業	児童青少年課	中高生世代が、自主的に活動・交流している	現状維持	現状維持
青05-02	STEP～ひきこもり等自立支援事業～	児童青少年課	ひきこもり状態にある若者の社会参加が促されている	現状維持	現状維持

中間アウトカム (B)		青少年が健やかに育つことができる地域環境がつけられている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
青01-01	青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	地域の青少年健全育成活動が活発に行われている	現状維持	現状維持
青03-02	子ども110番ステッカー事業	児童青少年課	子どもたちに対する犯罪抑止活動に、大人が意識を持って関わっている	改善・見直し	改善・見直し
前回の評価結果の内容		事業目的を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向があり、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼することにより、協力件数の増加を図ります。			
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		子ども110番ステッカー事業は、地域での防犯意識を高め、犯罪への抑止力となります。平成30年度は、協力件数の増加を目指し、PTAなど地域調査員の方々に新規にご協力いただける店等に声掛けを行い、98件の新規協力を得ることができました。			
課題及び今後の方向性の内容		新規協力はあるものの、既存の協力者の高齢化や商店の閉店などによる辞退、また、マンションのオートロック化など、協力者を増やしていくことは厳しい状況にあります。今後は、まだ協力いただいていない店舗・事業所などを中心に、新たに協力していただける場所等を検討する必要があります。			
青03-01	文京区社会を明るくする運動	福祉政策課	犯罪や非行の防止、更生保護への理解が深まっている		

4 【防犯・安全対策】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【教育推進部 児童青少年課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	4-4 防犯・安全対策
将来像	みんなでつくる、犯罪や事故の一番少ないまち

中間アウトカム (A)

区民の防犯や事故防止に対する意識が高まり、主体的な対策を講じている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
青03-02	子ども110番ステッカー事業	児童青少年課	子どもたちに対する犯罪が抑止されている	改善・見直し	改善・見直し
前回の評価結果の内容	事業目的を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向があり、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼することにより、協力件数の増加を図ります。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	子ども110番ステッカー事業は、地域での防犯意識を高め、犯罪への抑止力となります。平成30年度は、協力件数の増加を目指し、PTAなど地域調査員の方々に新規にご協力いただける店等に声掛けを行い、98件の新規協力を得ることができました。				
課題及び今後の方向性の内容	新規協力はあるものの、既存の協力者の高齢化や商店の閉店などによる辞退、また、マンションのオートロック化など、協力者を増やしていくことは厳しい状況にあります。今後は、まだ協力いただけていない店舗・事業所などを中心に、新たに協力していただける場所等を検討する必要があります。				
安01-01	安全対策推進	危機管理課	地域の安全対策が地域ぐるみで推進されている		
安03-01	交通安全普及広報活動	管理課	区民の交通安全意識が高まり、交通マナーが向上している		

評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分